

☆About Boys☆

今大会で44回目を迎える岐阜県選抜大会は、高校生にとっては花形の大会ある。さまざまなドラマが起こるのが、この大会の醍醐味だ。昨年度は、美濃加茂高が岐阜農林高との決勝戦で1点差の劇的勝利をもぎ取り、2年ぶりのウィンターカップ出場を果たし、会場中が興奮の渦に包まれた。今大会、優勝候補筆頭は間違いなく美濃加茂高だろう。優勝すれば新人大会・インターハイの三冠での2大会連続7回目のウィンターカップ出場となる。対抗は、近年美濃加茂高と優勝カップの取り合いとなっている岐阜農林高であろう。厳しい大会になりそうだが、伝統校の意地をみせ前大会の雪辱をはらすべく王者奪還に挑んでもらいたい。また、毎大会ベスト4に君臨しているが未だ優勝経験のない富田高も、富田バスケットを貫き、優勝争いに駒を進めるであろう。そして中津川工業高は東濃地区総体では3位というまさかの結果とはなったが、シード校としての躍進に期待したい。

ブロック

A このブロックは各地区の上位校がひしめく激戦ゾーンとして楽しみなブロックだ。第1シードの美濃加茂高は、ねばり強いディフェンスから相手のミスを誘い、速攻に持ち込む展開を武器としている。#4 前田(泉中)・#9 菅野(精華中)・#10 打江(松倉中)の3人のガードが激しいディフェンスからの素早い速攻をくり出し、#5 竹中(興文中)・#7 塚原(緑ヶ丘中)のシューターが内外問わず得点できる爆発力を発揮する。「限りなき飛躍」を信条に、全員で声を出し、全員で走り、全員で高め合うバスケットを見せてくれるだろう。

対抗は、インターハイ予選で、地区4位ながらシード校を破り、ベスト8入りした中津高だ。小柄で経験の浅いチームではあるが、ジャンプ力とスピードがあり、相手のディフェンスをかき回してくれる#4 早川(坂下中)。オフェンス力の高い#5 石橋(坂下中)・#7(神坂中)。戦術を駆使し相手を苦しめて勝機を見出してもらいたい。飛騨地区2位の斐太高は#4 奥田(日枝中)を中心に、得点力の高い#6 大野(松倉中)・#8 大平(日枝中)・#13 山下(松倉中)・#16 鳥谷(松倉中)、そして長身のセンター陣とバランスのいいチーム構成で、持ち前のねばり強いマンツーマンディフェンスで頑張ってもらいたい。中濃地区2位の可児工業高は「GENTLEMAN(一流の人間であれ),STUDENT(一流の高校生であれ),ATHLETE(一流の競技者であれ)」を部訓とし、#4 原(向陽中)を中心にディフェンスで粘り、トランジションの早いバスケットを目指している。順当にいけば、この3校の中から勝ち上がったチームが美濃加茂高と戦うことになるだろう。また、岐阜地区8位の加納高は感謝を忘れないバスケットを大切に、#4 高桑(蘇原中)のミドルシュート、#5 島根(笠松中)・#6 真鍋(精華中)のポスト内でのコンビネーションに期待したい。西濃地区3位の大垣日大高は、体の強さを生かしたプレイでチームを引っ張る#4 吉田(神戸中)やボールキープ力のある司令塔#7 柚原(精華中)を中心に感謝の気持ちをもって、ベスト8を目指す。

ブロック

B どこが勝ち上がってくるのかが全く予想がつかない方が面白い。Bブロックはまさにその状態にある。なぜなら、地区総体で波乱を起こしたチームが再び激突する可能性があるからだ。堅実なプレイで、チーム一丸となって全国大会出場を目指す中津川工業高。シュート力とディフェンス力を生かしてチームをリードするガードの#4 桑山(福岡中)、3Pシュートとドライブインが得意の#5 藤浪(岩邑中)、得点力のある#6 竹腰(第二中)、オールラウンドプレイヤーの#7 石原(福岡中)を軸として機動力を生かしてゲームの主導権を掴み、1試合1試合大切に戦っていくだろう。そして、二回戦で今大会屈指の好カードが、インターハイ5位の大垣工業高と、東濃地区総体で直接対戦はしていないものの、強豪中津川工業高を抑えて優勝してきた中京高戦だ。第5シードの大垣工業高は、Play Hard. Play Smart. Play Together.を合言葉にオールコートディフェンスで粘り強く守り、素早いオフェンスを武器に優勝を目指す。#4 松本(不破中)は小柄ながらも、正確なシュートと圧倒的なフィジカルで得点を量産し、#5 廣瀬(大垣東中)は鍛え向かれた脚力を武器に激しいディフェンスから相手のミス誘い、#7 前田(星和中)の正確な3Pシュートからチームに活気を与え、美濃加茂高との対戦も視野

に入れて、挑んでくるだろう。

東濃地区1位の中京高は「全力・真剣・挑戦」という部の活動方針をもとに、練習だけでなく、学校生活においても「人間力向上」を目標に活動している。コート上で誰よりも大きな声で仲間を声かける頼もしい主将#4 近藤(土岐津中)が体を張ったリバウンドやルーズボールへの絡みをどこまで見せられるか。チームの大黒柱#5 曾我(西陵中)が真のエースとして活躍し、最後まで諦めない姿勢で戦い、シード権獲得へと駒を進めることができるか楽しみだ。さらに、虎視眈々と上位を狙っているのは西濃地区2位の大垣商業高だ。校内の模範生として学校生活を送り、毎日の練習で全力を出し成果を上げてきている。#5 臼井(穂積中)の3Pや、#10 船木(穂積中)のドライブを中心に勝ち上がってほしい。また、中濃地区3位の帝京可児高は「破格前進」をモットーに勇敢に立ち向かう。#4 伊藤(北陵中)を中心に全員が元気に積極的に動いてそれぞれの役割を果たし、勝利へと繋げて行ってほしい。近年著しく成長しているのは岐阜地区8位の岐阜北高は、「ハードワークとコミュニケーション」を合言葉に、チームを引っ張る#4 安藤(東長良中)のアウトサイドシュートと、インサイド・アウトサイドの両方がプレイできる#5 加藤(東長良中)の活躍次第でシード権争いに絡んでくるかもしれない。岐阜地区4位の長良高は地道にコツコツと得点を狙う。ゴール下でのパワープレイが特徴の#4 石搏(岐大附中)、ガッツ溢れるプレイでチームを引っ張る#5 大坪(高富中)の活躍が楽しみだ。

ブロック

C 本大会の前哨戦となる岐阜地区総体で直接対戦した2チームの争いが楽しみだ。第3シードの富田高は、「Sky's The Limit (限界はない)」をモットーに高校生らしく澆刺とした躍動感あふれるバスケットを展開してくれるだろう。強靱な身体を生かし、リバウンドやパワープレイで相手を圧倒する#4 中川(大垣東中)、チームの司令塔である#5 林(大垣東中)、切れのあるドライブとジャンプショットで得点を量産する#7 廣瀬(穂積中)、アグレッシブなランニングプレイでチームに勢いを与える#8 田中(大垣東中)の活躍が見どころである。そして、その富田高をその座から引きずり下ろしたいのが、地区総体で富田高を破り岐阜地区2位となった岐阜総合高だ。めきめきとチーム力を上げ、チームのスローガン「夢に挑戦」を掲げ、まさにその夢であるベスト4の獲得、更にその勢いでファイナル進出まで上り詰めることができるのか！中外から得点を量産するパワフルなオールラウンドプレイヤー#4 下里(池田中)やアグレッシブなプレイが持ち味の#5 杉原(大垣西中)、#6 浅野(神戸中)のドライブ・シュート力に期待したい。また、土岐商業高は、東濃地区2位ではあるが、地区総体で中津川工業高を破っている。素早いトランジションを特徴に、ディフェンス力のある#4 横井(西陵中)と#6 池山(陶都中)の力強いドライブでチームに勢いを与え、#7 栗山(陶都中)のダイナミックなプレイで会場を沸かしてくれるだろう。また岐阜地区8位の岐阜高の高い集中力と攻守の切り替えも楽しみだ。ガッツ溢れる#5 村橋(岐大附中)、高い得点力の#6 戸谷(梅林中)、攻守の要#7 杉山(境川中)らが実力を発揮し、ベスト8を目指す。

ブロック

D 岐阜農林高と高山西高の対決が濃厚だ。第2シードの岐阜農林高。昨年優勝カップを逃してからこの1年ひたむきに練習に取り組んできた。基礎基本の反復と徹底は、3年生のこの大会で県内一のねばり強いディフェンス力へと仕上がっていく。そこが岐阜農林高の最大の強さである。地道に頑張る精神的柱#4 安江(佐見中)、今年国体選手に選ばれたチームのエース#5 安藤(笠松中)が中心だ。スーパースターは不在だが、それだけにチーム力はこれまで以上に強いところがある。ただし、ブロック決勝で屈指の好カードと言っている戦いが待っている。「冬の農林」を復活させるには、まずそこでの1勝が肝心となるだろう。

その対抗馬となるのが、同じく基礎基本の徹底とねばり強いディフェンスを誇る飛騨地区1位の高山西高だ。#4 松井(日枝中)#5 重山(古川中)を中心に、攻守の切り替えが鍵となる。存在感のある#8 青木(萩原南中)、内外角をこなす#9 大窪(神岡中)・#7 今井(萩原南中)ほか豊富なベンチメンバーの活躍が楽しみなチームである。また、挑戦者としてひたむきにプレイすることが目標なのは、飛騨地区3位の益田清風高だ。#4 大前(竹原中)が率先して声を出し、#5 田中(松倉中)が走って活路を見出し、カバーし合うディフェンスから流れを作ってもらいたい。

☆About Girls☆

今大会の女子は昨年度同様に、女王岐阜女子高との優勝決定戦に向けてトーナメント戦が始まる。もちろん25年連続26回目の優勝を目指す岐阜女子高が偉大なる伝統を継続していこう。その対戦カードは今年も県岐商高となり、念願の2年連続ウィンターカップ出場となるのか、それとも県岐商高を破り平成24年度県総体来の岐阜女子高に挑むその他の高校が出てくるのだろうか。それは県総体で念願の東海大会出場を決めた大垣商業高か、はたまた経験値の高い主力選手が多くいる岐阜農林高か、または毎大会で会場を総合カラーに染めてしまう岐阜総合高か。どのチームもその席を狙えるだけの力を持ち合わせている。各シード校が全国大会出場を目指し、激戦を見せてもらいたい。

A

ブロック

今夏、ハードなトレーニングを積んできた県岐商高に注目だ。ポイントガード#12 梅本(岐清流中)・オールラウンダー#5 源(山岡中)・シューター#4 吉田(西可児中)・#6 大川(桜ヶ丘中)などの鍛えあげた脚力と、どこからでも得点できる武器を持ち、岐阜女子高に挑んでくることは間違いないだろう。しかし、このブロックは実力チームが多くひしめく。まず飛騨地区1位の高山西高。前大会で、何年か振りにシード権を逃したが、チーム力と個人の実力は十分ある。#4 川原(松倉中)と#5 野村(中山中)のスピードと、#7 西田(松倉中)の長身を生かしたプレイで、ベスト4に振り返り咲きといこうか。

急成長中の飛騨地区2位の飛騨高山高は、運動量が豊富でスピードのあるエースの#6 向本(日枝中)が、どれだけ安定した力を発揮できるかが鍵となる。1年生ガードの#12 齋藤(古川中)の強気なプレイにも期待したい。東濃地区2位の恵那高は、小柄なチームではあるが、#4 西尾(山岡中)と#5 原(苗木中)のスピードを生かした展開をし、1試合でも多く試合をしてもらいたい。また、1年生チームながら健闘している各務原高は、#4 鶴巻(那加中)のパワーある攻めとリバウンド力、#8 水川(中央中)のインサイドプレイと3Pシュートなどの巧みな攻めで、チーム一丸となって戦ってもらいたい。

B

ブロック

面白いことになりそうなのがBブロックだ。おそらくブロック決勝では、地区総体を入れて3度目の対戦となる岐阜城北高対岐阜総合高のカードが待っている。いずれも僅差で岐阜総合高が勝っているが、どの様な結末が待っているのだろうか。ルーズボール・リバウンド、声の質と量、そしてどんな状況でも笑顔でプレイすることには、どのチームよりこだわっている岐阜総合高。#4 河田(岐南中)が攻守にわたりチームの要としてコート駆け回り、堅実なプレイでチームを支える#5 島川(精華中)ら3年生が強い思いをもってチームを引っ張る。明るく元気な応援も総合の魅力の一つとして必見だ。

対抗は3度目の正直となるか！昨年度、シード校を破りベスト4入りを果たし大躍進を果たした岐阜城北高の勢いは止まらない。小さな身体ではあるが、巧みなボールハンドリングと、チームにスピードあるオフェンスを展開させる#4 村瀬(三輪中)、しなやかなシュートと高いリバウンド力でチームの大黒柱である#5 野村(清流中)、#6 堀江(真正中)・#7 加納(岩野田中)の3Pにも注目だ。#10 渡邊(梅林中)のディフェンス力、#11 田垣(美山中)の身体を張ったプレイにも注目したい。試合経験豊富な上級生とそれを支える下級生も力をつけてきた。昨年度同様会場をあっという間に驚かせ、県岐商高を倒し、全国へ列車に乗るのは岐阜城北高かもしれない。中濃地区2位の東濃実業高は#4 今井(共和中)の抜群なバネと負けん気の強さでチームを引っ張り、#5 河野(北陵中)の器用さで、相手を翻弄するだろう。中濃地区3位の関商工高も泥臭いバスケットで上位を狙う。経験値のある#4 平林(美濃中)の切れのあるドライブと外角のシュート、小柄だがここぞという時に見せる強気のプレイが魅力的な#9 岡田(旭ヶ丘中)を筆頭に粘りのバスケをしてもらいたい。

C

ブロック

「ひたむきに練習する」「仲間を大切にする」「礼儀正しく行動する」を信条に、毎大会会場に感動を与えてくれる岐阜農林高。#4 岩佐(大垣西中)のスピード、#5 大澤(岐清流中)のジャンプシュート、#6 長縄(桜丘中)の1対1の能力がさらに成長している。チーム一丸となって優勝決定戦を目指す。

対抗には、新人大会で何年振りかにシード権を逃した土岐商業高と前大会で岐阜地区6位から、ベスト8入りを果たした岐阜北高がいる。土岐商業高は、走るバスケットを武器とし、#4 田口(苗木中)のスピード、#5 吉村(岩邑中)の堅実なプレイ、#6 三好(西陵中)の粘りのあるディフェンスで上位を目指し、全力を尽くす。岐阜北高は「全力で走り、ディフェンスを頑張るって試合に勝つこと」がチームの目標だ。冷静な司令塔#4 影島(長森中)、俊足の#5 川瀬(川島中)や、球際の判断力と粘りを見せる#6 恩田(藍川東中)が相手のペースを乱し、チームとして得点を狙いシード校に挑んでもらいたい。西濃地区3位の大垣日大高は、全員で攻守をやりきるチームだ。#5 山北(大垣南中)・#6 西村(神戸中)・#7 玉井(登龍中)・#8 大橋(輪之内中)を中心にディフェンスからの早いバスケットを展開してもらいたい。「いつも前向き、心技体の向上」をモットーとする岐阜地区8位の本巣松陽高は、#4 橋本(大野中)を中心に#5 山口(大野中)・#7 貝川(大野中)のトリオが、コンビネーションプレイを見せ、リズムよくコート内で活躍してくれるだろう。#6 下川(真正中)の長身を生かしたゴール下のプレイが勝敗の鍵を握っているだろう。岐阜地区ベスト8の長良高は、#4 神戸(岩野田中)は内外そつなつこなし、オフェンスの起点となり、ランニングプレイからのドライブで相手を切り開く#5 山田(羽中央中)の活躍で粘り強く最後まで諦めないバスケットを展開してもらいたい。

D

ブロック

優勝を目指すシード校の大垣商業高が間違いなく上位に上がってくるだろう。スピードのあるカッティングで相手をかき回す#4 安江(北方中)、足が速くチーム1番のシュート力を誇る#5 長谷部(大垣東中)、視野の広い冷静な判断のできるオールラウンダー#6 武元(赤坂中)、リバウンド力のある#7 久保(不破中)らが、堂々とした姿勢で最後まで勝ち上がっていくだろう。しかし、その前に、高い組織力で緻密な頭脳バスケットを展開しているシード校の美濃加茂高がその前に立ちはだかる。ブロック決勝で予想されるこのカードは昨年の新人大会で対戦している。その時は美濃加茂高に軍配が上がっている。ONE FOR ALL, ALL FOR ONE.を合言葉に#4 川合(西可児中)がガードとしてゲームをコントロールし、高確率なシュートを放つ#5 日比野(西中)の活躍と多彩なオフェンスで、会場を魅了できるか。今大会、美濃加茂高がどんな秘策を用意しているのか楽しみだ。

西濃地区2位の大垣北高は全員が得点力のあるチームだ。華奢ながらスピードとシュートセンスのある#4 由井(西部中)、真面目なディフェンスでチームに貢献する#7 坂(大垣東中)、抜群のスタミナと安定したシュート力のある#8 久富(神戸中)の頑張りや初戦突破を目指す。飛騨地区3位の斐太高は確率の高い3Pシュートを放つ#4 倉田(松倉中)と鋭いドライブのできる#6 金子(清見中)で、チームで力を合わせて勝ち上がってもらいたい。

今大会、男女ともに“一寸先は闇”の状態である。男子の決勝戦・女子のシード校の争い・・・何が起こるか分からないのが、高校生同士の戦いだ。今年もたくさんのドラマがそれぞれの試合で起こるだろう。どのチームもチームの勝利のため、そして自分自身の充実した人生のために目の前の相手と全力で戦い、バスケットボールをもっと愛することのできる大会となることを期待する。

いよいよ年末の全国選抜大会に向けチップオフだ！今年さらにはわくわくドキドキ、ハラハラな大会になるのは間違いない。高校バスケファンは、とにかく会場に集合だ。